

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 ぞう 組	6 月 30 日 (月)	相馬 有香

● 実施計画

活動テーマ		
サイエンス～光～		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
<p>・水の中に物を入れるとどうなるのか？透明の袋を水槽にいれるとどうなるのか見え方が変わるのかなど先週行って話をし興味関心をもっている姿がみられた。</p>		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	
	<p>・子どもたちに実験をすることを伝え準備しているものを子どもたちと確認</p> <p>・多い水に10円玉・少ない水に10円玉・油に10円玉をいれるとどうなるのか？</p> <p>→「わからない」</p> <p>「大盛りの水はこぼれる」</p> <p>実際に入れてみると・・・</p> <p>多い水</p> <p>→「大きく見えた」</p> <p>半分の水</p> <p>→「そこまで変わらない」</p> <p>油</p> <p>→「シュワシュワしてる」</p> <p>「泡が出てきてる」</p> <p>・ストローを入れてみるとどうなるのか？</p> <p>→「わからない」</p> <p>「10円玉と一緒に水はこぼれる」</p> <p>「ストローの色変わるかも」</p> <p>実際に入れてみると・・・</p> <p>多い水</p> <p>→「おお浮いた」</p> <p>半分の水</p> <p>→「船みたい」</p> <p>油</p> <p>→「なんかちょっと沈んでる」</p> <p>・水槽の中に袋を入れてどのように</p>	<p>・プラカップ</p> <p>・10円玉</p> <p>・油</p> <p>・水</p> <p>・ストロー</p>

	<p>みえるか？ 袋に油性ペンを使い自分の好きな絵を描く。時間は15分間</p> <p>・みんなが描いた絵をタライの中に入れたらどうなるのか？ →「光る」「わからない」 実際に入れてみると・・・ →「光ってる」 「浮いてる」 「絵が浮いているように見える」</p> <p>※家の風呂での出来ることを提案する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・油性ペン ・袋 ・水 ・タライ
--	--	---

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<ul style="list-style-type: none"> ・油を使う事を伝えると子どもたち自身興味を示し楽しんでいる姿がみられた。 ・水と油の実験でははっきりとした実験結果が見ることが出来なかったが子どもたちの発する言葉を汲み取りながら友だち同士で会話を楽しんでいる姿がみられた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちは実験をすることを伝えると子どもたち自身楽しんでいる姿がみられた。 ・子どもたちの声を拾えるように子どもたちの声が被ってしまった際などは声掛けをしながら一人一人の言葉を聞くように声を掛けている。 ・初めて行った実験の為、子どもたちは嬉しそうにしている姿がみられた。

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちと一緒に実験をすることの楽しさを実感した。 ・子どもたちが一人一人意見が言えるように声掛けをしていくとより多くの子どもたちの気付きがある為、時間など有効に使いながら発表できる環境を作っていきたい。 ・子どもたちからの発言を大事にしていきたいため子どもたちからの意見などを次回のおわくわく探求ラボに組み込み取り組んでいきたい。 	<p>活動スケジュールや報告の中に、「大きく見えた」「シユワシユワしてる」「油が浮いてる」など、子どもたちの生のつばやきがリアルに記録されており、一人ひとりの気付きの瞬間を保育者がしっかりとキャッチできている点が大変素晴らしいです。関わりの中で「子どもの声が被ってしまった際などは声掛けをしながら一人一人の言葉を聞くように声を掛けている」という配慮は素晴らしいです。大人数で一斉に発言すると埋もれてしまう子もいるため、4～5人の小グループに分けて実験を行う時間を設けるなど、全員が「自分の気付きを言葉にできる」環境設定(時間や空間の工夫)をさらに検討してみると、より一人ひとりの気付きが深まるかもしれませんね。</p>

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 ぞう 組	7 月 9 日 (水)	相馬 有香

● 実施計画

活動テーマ		
たべもの～水～		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
<ul style="list-style-type: none"> ・水を扱うことでどこから水がきているのか ・水遊びの際に水を出す量を調節すると体にあたる勢いを肌で感じ楽しむ。 		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	
15:40	<ul style="list-style-type: none"> ・水とはなにか？ → 「あったかい・冷たい」 「あったかいはお湯」 「つよい」 「強いって何？」 「炭酸とかでしょ・・・」 ・氷とはなにか？ → 「氷は冷たい水で出来てる」 ・プラカップをもらい半分の量の水を入れる 「水って手とか入れると大きくなるよね」 「お風呂でやったことがある」 ・プラカップに入れた水どんなにおい？ → 「雨のにおい」 ・プラカップ入れた水を触ってみよう → 「冷たい」 ・指を入れたまま横から自分の指をみてみよう 「水の中に入っている指はどうなってる？」 → 「水がはいっている方が指が太くなってる」 ・プラカップから透明のビニール袋の中に水を入れる。 ・透明のビニール袋にいれた水を袋の上から触ってみる。 → 「もちもち」 ・水が入っている袋を振ってみると・・・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・プラカップ ・水 ・透明の袋

<p>→「シャカシャカしてる」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・袋の中に水を多く入れてみる と・・・ <p>→「銀に見える」「透明に見える」</p> <p>「しゃぼん玉に見える」</p> <p>空気が入りしゃぼん玉が入っているように見える。動いているのを見ると「いろんな形の空気ができている」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顔の前に持っていくと・・・ <p>「みんな変な顔」</p> <p>〈次回の話〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園内で水はどこにあるのか探検しよう！ 	
---	--

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな資材を使い水に触れてみる。 ・水を入れる容器を変えると水かさが増えるのか・減るのかを実験する。 ・袋に入れたことにより、完食などを子どもたち自身の言葉で発する時間を作る。 ・次の活動へ期待が持てるように声掛けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちは水に触れることはあるが資材を使い、触る機会がなかったため、子どもたち自身楽しんでいる姿がみられた。 ・子どもたち自身で水を入れたことにより視覚で水の量の調節ができていて、活動に取り組みやすかった。 ・子どもたちの素直な感想などを言葉にしながらか表現をする姿がみられた。

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<ul style="list-style-type: none"> ・水に直接触れるということで子どもたち自身が考えつかなかったことが、資材などを通して楽しんで行っている姿がみられた。 ・1人1人の言葉を聞き出すことが出来ず発することが出来てもマイナスな意見が出て来ている為声をかけていきたい。 	<p>資材を通して水の変化を五感で楽しむ、非常に質の高い探究活動ができています。子どもたちの「雨のにおい」「鏡に見える」といった豊かな感性の言葉を丁寧に引き出せていますね。1人1人の発言への対応に悩む場面もあったようですが、どのような意見もまずは子どもの大発見として認め、共感の声をかけていきましょう。次回の「園内探検」への発展を楽しみにしています。</p>

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 ぞう 組	10 月 20 日 (木)	相馬 有香

● 実施計画

活動テーマ		
アート～色の不思議～		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
<ul style="list-style-type: none"> ・クレヨンを使い自由画帳に色を重ね塗りをして楽しんでいる。 ・絵を描く際にクレヨンや絵の具にない色を作りたいと思った際に図鑑などを使い調べている。 		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	
10:40	<ul style="list-style-type: none"> ・パレットに好きな色の絵の具を出し絵を描く ・一人1本スポイトを使い使い方を説明 ・好きな色をスポイトで取り画用紙にたらす ・画用紙のいろんな場所に絵の具を垂らし色のグラデーションを楽しむ。 ・自分の作った色のみではなく、友だちが作った色で絵を描く ・スポイトを使うことによりグラデーションを楽しみに色を作っており2色・3色と色を混ぜて楽しむ。 ・好きな色を使い絵を描き楽しむ。 ・スポイトを使い1滴ずつ垂らす方法を伝え、色が混ざらないように水を入れてスポイトの中を綺麗にする方法を伝える。 <p>〈次回〉 スポイトを使ったおもしろ絵の具</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・画用紙 ・絵の具 ・筆 ・スポイト

	<p>スポットを使いながら絵の具をアルミホイルを使いグラデーションを楽しむ</p>	
--	---	--

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<ul style="list-style-type: none"> ・好きな絵の具を出し筆を使い混ぜスポットを使い白の画用紙に1滴ずつ垂らし楽しむ。 ・色が合わさるところ、数滴だし色が飛び散るところを実際に行って楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたち自身スポットを使うことが初めてのため興味津々で取り組んでいる姿がみられた。 ・スポットを使うことで色の混ざり具合を工夫することができ、色のグラデーションを楽しんでいる。

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたち自身スポットを初めて使ったため、楽しんで使っている姿がみられた。 ・スポットのため水滴が落ちて欲しいところに落ちず色のグラデーションを作ることに難しそうにしている子もいたが全体的には楽しんで行っている子が多くいた。 	<p>単に色を混ぜるだけでなく、水滴の飛び散りやグラデーションなど、偶然の美しさに気付いた点も好印象です。友達の作った色を認め合い、お互いの表現から新たな刺激を受けている姿に、5歳児らしい育ちを感じます。手元の細かな調整に難しさを感じていた子への適切な見守りと、言葉かけによるフォローも適切でした。今回の気付きを活かし、次回のアルミホイルを用いた活動ではさらに多様な色の変化を引き出してあげてください。子どもたちの「なぜ?」「もっとやりたい!」という探究心を、今後も豊かな感性へと繋げていきましょう。</p>

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 ぞう 組	1 月 15 日 (木)	相馬 有香

● 実施計画

活動テーマ		
おかね ～おかねってなんだろう～ お金ってなあに？		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
・お年玉をもらった事により子どもたち自身関心をもちながら楽しんでいる姿がみられた		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	
13:30	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今月のわくわく探求ラボでは「お金」について行う事を話をする。 ・ 子どもたちにはお金の種類が何種類あるかを聞きながら行いホワイトボードに描いていった。 ・ 子どもたちからは普段、目にしている紙幣や硬貨を言ってもらいどんな形なのかを描いていく。 ・ 「お金がなかったらどうなるか」など、深く問いかける。 ・ 昔はお金の代わりに貝殻を使い物々交換をしていたことを話しをしている。 ・ 子どもたちは形・色を考えながら発言していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 模擬紙幣 ・ ホワイトボード ・ 折り紙
	・ 買い物をする際に何	

	<p>が必要なのかを子どもたちと確認し合い、折り紙を使い財布を作ってもらおう。</p>	
--	---	--

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<ul style="list-style-type: none"> ・今回の探究活動ではお金の種類が何種類あるのかを子どもたちと確認しながら行っていった。 ・子どもたち自身、見覚えのある紙幣はすぐに出てきていたが、2000円札を見たことがない子がほとんどだった。 ・買い物に必要な財布を作る姿がみられた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたち自身の反応を見るために、子どもたち一人ひとりが意見を出せるように声を掛け見守っていった。 ・子どもたちは考えながら発している姿がみられた。 ・財布づくりでは子どもたちに折り方を伝え丁寧に折っている姿がみられた。

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたち自身、お金に関して興味があり知っているものを一人ずつ発している姿がみられた。 ・財布づくりでは子どもたちに折り方を伝えると子どもたち自身で声を掛けあいながら作っている姿がみられた。 ・子どもたち自身と考えさせられることが多く発見もたくさんあった。 	<p>子どもたちにとって身近なお年玉から「お金」への興味を広げた、大変興味深い実践ですね。見慣れない2000円札への反応など、子どもたちのリアルな気づきを丁寧に拾っておられます。「お金がなかったらどうなるか」という問いかけは、物事の本質を考える良い刺激となりました。昔の貝殻の歴史にまで触れたことで、子どもの知的好奇心がさらに刺激された様子が伝わります。後半の財布作りでは、折り方を教え合うといった子ども同士の主体的な関わりを引き出せました。今後は、作った財布を使って「お店屋さんごっこ」など、実際の買い物体験へ発展させると素敵です。生活に直結する生きた学びとして、今後のクラス活動や遊びの展開にもぜひ繋げていってください。</p>